

科目名	特殊講義 （社会保障論）	科目コード	1535	単位数	2
担当者名	島津 望	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

国の経済政策と表裏の関係にある社会保障政策について学ぶ。戦後日本の社会と経済と、社会保障の関係について、特に医療、福祉、介護の政策の仕組み、および社会保障の現代的課題について考察する。この授業を通して、広く社会問題についてムズから考える能力が身につくようにする。このことを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力を身につけること」を目指す。

●到達目標

日本の医療、福祉、介護の制度など、社会的セーフティーネットの仕組みを理解できるようになること。これを通して、社会全体を断片的ではなく、総合的にとらえる視点や幅広い教養を身につけることをめざす。

●授業内容

- 1週目 イントロダクション：授業の概要、授業の進め方などと、社会保障制度について
- 2週目 社会保障の誕生と発展
- 3週目 日本の社会保障の仕組み
- 4週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに単元テスト
- 5週目 戦後から高度経済成長期までの産業政策、雇用制度、家族関係
- 6週目 医療保障と国民皆保険制度
- 7週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに単元テスト
- 8週目 世界の社会保障と福祉国家・福祉レジーム
- 9週目 国際比較からみた日本の社会保障
- 10週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに単元テスト
- 11週目 低成長期以降の社会保障の課題
- 12週目 少子高齢社会と介護保険
- 13週目 これからの社会保障と社会的包摂
- 14週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに総合テスト
- 15週目 総括と個別指導
- 16週目 やむを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業などをおこなう

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習は予めCoursePowerなどで指示したテキストや資料の箇所を読むことに1時間を要する。
復習はその週に学習した内容をノートに整理することに1時間を要する。

ディスカッションなどを行なうアクティブラーニングを実施する予定である。したがって、事前に指定した予習（資料や動画の視聴）をしておき、意見を表明できる準備をしてくること。

●成績評価の方法・基準

課題提出状況、単元テスト、総合テストなどによって総合的に評価する。
授業に出席することは当然のことなので、出席率が高いことを以て成績のプラス評価には反映させない。

●履修上の留意点

課題への回答提出を以て出席とする（課題への回答を提出しなければ欠席とする）。
出席率70%未満の者は単位を認定しない。
授業中の私語、勝手なスマホ操作、その他注意事項を守らない場合は欠席扱いとする。

本科目は2020年度まで「パブリック・マネジメント」として開講してきた科目である。「パブリック・マネジメント」の単位をすでに取得した者は、本科目は履修できない。

●課題に対するフィードバックの方法

課題や単元テスト、総合テストに対する全体としてのフィードバックは、授業で行うディスカッションなどを通して行う。
また、個々の受講者へのフィードバックはCoursePower上で行う。
課題や単元テスト、総合テストに対する異議の申立には、適宜、適切に対応する。

●テキスト

厚生労働省編『厚生労働白書平成23年版』および『厚生労働白書平成24年版』（厚生労働省のホームページから取得可能）
（CoursePower上に必要な箇所を抜粋したPDFファイルを掲示するので、予めプリントアウトをして授業に持参すること）

●参考書

香取照幸『教養としての社会保障』（東洋経済新報社）1,600円

●更新日付

2022/01/31 11:41